

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業

政策名	物流・産業		責任者	港営部 海務課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化		連絡先	052-654-7880
事務事業名	無線通事事務		連携課	
目的	対象(誰・何を)	入出港船舶及び港湾関係者	事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	安全で効率的な船舶航行を促し、円滑な港湾利用に寄与します。		
概要	名古屋港入出港船舶と国際VHF無線電話(ポータラジオ)により通信を行い、本船動静情報の入手や水先人、タグボート、係留施設、荷役状況等の情報提供を行います。		根拠法令等	名古屋港管理組合 港湾施設条例及び同 施行規則
活動内容	取り扱う通信の内容は、①伊良湖水道航路通過時刻、港外や高潮防波堤の到着予定時刻、アンカー位置・時刻等の本船情報 ②水先人やタグボートのスケジュール情報 ③先船の荷役状況等の係留施設情報 ④風向、風速等の気象情報等です。また、鍋田ふ頭コンテナターミナル利用船舶に対しては、特定運用方法により、離着岸を円滑に行うための調整を行います。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	35,520	35,464	35,491	35,492	※無線業務の夜間委託継続中(平成28年度から)
人件費	千円	27,308	28,489	28,579	28,125	
合計	千円	62,828	63,953	64,070	63,617	

3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
適正な通信対応回数率(%) (単年度管理型)	目標	-	100	100	100	適正な通信対応回数÷無線通信回数		
	実績	100	100	100				
	事業進捗状況(30年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
無線通信回数(回)	目標	-	-	-	-			
	実績	19,209	21,989	22,773				
	事業進捗状況(30年度)			-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	船舶との無線通信において、適正に対応できたことから、指標とした「通信対応回数率」は達成できました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	ポータラジオの無線局免許は、公共事業用として港湾管理者に与えられるものであり、本組合が関与すべきものです。利用船舶と港湾関係者との橋渡しの役割としてのニーズは高く、また、利用船舶の運航調整業務に関しても、港湾関係者から高く評価されています。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	常に適正な通信を行うことにより、安全で効率的な船舶運航及び港湾利用に寄与しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	平成28年度から夜間業務を委託したことにより、引き続き、コスト削減が図られています。					

4 ACTION(取組)

課題	令和元年度以降の取組
さらなるコスト削減及び業務効率向上のため、取り組んでいる名古屋港無線局の全面委託化を図る必要があります。	無線業務に係る無線業務(船舶通信)のみならず、無線局の全面的な委託化に向け、無線通信機器等の設備維持・管理も含め、そのあり方について検討します。